

令和8年春の開学を目指す『武雄アジア大学(仮称)』は、設置・運営主体の学校法人旭学園により、文部科学省に対する大学設置認可申請(本年10月)に向けて準備が進められています。

大学に関する説明会が開催されています

大学に関する市民座談会や、大学をテーマにしたまちづくり講演会等が、学校法人旭学園や各町区長会等によって開催されています。

学校法人旭学園から、どのような大学をつくろうと考えているか、どのような人材を育成したいと考えているかなど、市からは、大学ができることによるまちへの効果などについて説明しています。

今年度に入り、市役所1階ホール(5/23)、山内公民館(6/26)、武内公民館(7/9)、北方公民館(7/17)、西川登公民館(7/29)で開催され、様々なご意見やご質問をいただきました。今後も市民の皆さまに向けた説明会を予定しています。



よく寄せられる主な質問と回答

Q 市が大学をつくるのか？

市 **A** 『武雄アジア大学(仮称)』は、学校法人旭学園が設置し、運営されます。
市は、学校法人に対し、施設整備等への補助や用地貸付などの支援をします。

Q なぜ市は大学を誘致するのか？

市 **A** ・若者世代の減少が著しい市の人口減少を食い止め、持続可能で活気があるまちをつくるため
・子どもたちの学ぶ選択肢を増やし、夢の実現を応援するため
・学びたい人がいくつになっても学べる場を増やし、一人一人が元気に過ごせるまちをつくるため
他にも、小中学校等との連携による教育の充実や、経済や産業の活性化など、様々な効果を生み出すことを期待し、大学を誘致しています。

Q 大学は、学生以外には関係がないのでは？

旭学園 **A** 『武雄アジア大学(仮称)』では、市民の皆さまの学び直しなど、様々な講座を実施する予定です。大学内には、市民の皆さまも自由に活用できるスペースを設けます。また、災害等の有事の際には避難所としても開放できるよう考えています。
学生たちも大学内だけに留まらず、地域の皆さまのもとで学ばせていただく仕組みを作りたいと考えています。

Q 市が約13億円の補助をすることで、財政に影響はあるか？

市 **A** 大学施設整備等に対して、文部科学省から大学設置認可が下りることを条件に補助します。
なお、教育や福祉、まちづくりなどの予算や、災害等の発生に対する備えに関する予算は別に確保し、市民サービスが低下することがないように予算編成しています。

Q 少子化の時代に学生は集まるのか？

旭学園 **A** 佐賀県は、4年生大学の数が全国で最も少ない地域であり、県西部地域には1校もありません。現在、少子化で子どもの数は減っていますが、大学に進学する子どもの割合は、全国、県内ともに増えています。また、県内には学びの選択肢が少ないことから、県内大学進学者の8割以上は県外へ進学している状況です。
武雄市に大学ができることによって、地域で学ぶ選択肢が増え、学生が集まることが期待できます。
また、『武雄アジア大学(仮称)』の学生確保の見通しは、大学設置認可基準にもある「高校生に対するアンケート調査」を行い、入学定員(140名/年)を満たす進学意向者の回答を得ている状況です。



たけお
ポータル



学校法人旭学園
武雄アジア大学(仮称)
公式サイト

お問合せ

企画政策課 ☎0954-23-9325